

2026年9月リリース

The Making of Modern Law: British Colonial Law: Acts, Ordinances, and Proclamations from the Colonies, 1643–1900

イギリス植民地法：植民地における法律、条例、布告集

センゲージラーニング社Galeが提供する近代法制史のシリーズ“The Making of Modern Law”の新コレクションが2026年9月にリリースされます！

本コレクションは、1643年から1900年までの2世紀半にわたり英国植民地で制定された法令、条例、布告を一堂に集めたものです。英国の統治下にあった多くの植民地および英連邦諸国・領土における法制度の発展を記録する資料となっています。

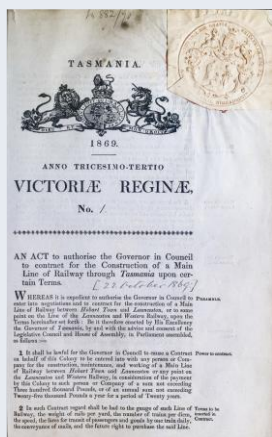
昨年リリースされた20世紀の英国植民地法を集めた「The Making of Modern Law: British Colonial Law: Acts, Ordinances, and Proclamations from the Colonies, 1900–1989」と相互に補完し合うもので、二つのモジュールにより350年間に亘る英国植民地法を俯瞰することができます。

資料概要

- 資料提供元：英国国立公文書館（The National Archives, UK）
- 収録ページ数：約40万ページ
- 資料形式：印刷文書、手稿

※100%新規スキャンによるデジタル化

- 収録年代：1643-1900
- こんな分野で活用できます：法制史、植民地史、イギリス史、カリブ史、カナダ史、オーストラリア・ニュージーランド史、アフリカ史、アジア史、17-19世紀史



- 法制史・植民地史・国際関係史研究の重要な一次史料**：1643年から1900年までの法令資料を通じて、大英帝国の拡大と統治の実態、ならびに現代各国の法制度形成に与えた影響を研究するための基盤資料となります。
- 英国植民地各地の法令を横断的に比較できる**：アフリカ、アジア、インド亜大陸、カリブ海地域、オセアニアなど、大英帝国の広範な地域で制定された法令を収録しており、地域間における法制度の共通点や相違点、法令の伝播・影響関係を比較検証することができます。
- 植民地法から独立後の法体系への変遷をたどることができる**：植民地期に整備された法制度と、独立後に各国で形成された法体系との連続性や変化を分析することで、現代の法制度の歴史的起源や発展過程を明らかにすることができます。
- パックス・ブリタニカ期における帝国統治と法制度の展開を検証できる**：本コレクションは、大英帝国が地理的・政治的支配の頂点に達した19世紀末の「パックス・ブリタニカ（Pax Britannica）」期までを対象としており、法制度が帝国統治や国際秩序の形成に果たした役割を長期的な視点から研究することができます。
- 英国植民地支配の功罪を多角的に検討できる**：英国が近代的な法制度や行政制度を植民地へ導入した側面を検証できる一方で、「法の支配」や「法の下での平等」が植民地統治の正当化や社会的不平等の維持にどのように利用されたかについても考察することができます。
- 植民地統治における法の役割を解明できる**：法律・条例・布告を通じて、英国がどのように植民地支配を制度化し、統治機構を構築していったのかを具体的に検証できます。

※当カタログでご紹介している収録資料は、変更される場合があります。

日本販売代理店



紀伊國屋書店

デジタル情報営業部 online@kinokuniya.co.jp

◆ [The Making of Modern Law: British Colonial Law: Acts, Ordinances, and Proclamations from the Colonies, 1900–1989](#)

イギリス植民地法：植民地における法律、条例、布告集 1900年-1989年

イギリス植民地において20世紀に制定された法律、条例、布告を網羅的に収録する電子コレクションです。2025年リリース。

南アフリカやセイロン（現在のスリランカ）、サラワク（現在のマレーシアの一部）、バミューダに至るまで、広大なイギリス植民地の全域をカバーしています。

◆ [Decolonization: Politics and Independence in Former Colonial and Commonwealth Territories](#)

脱植民地化：旧英国植民地における労働運動・政治運動・独立運動の諸相

英国から独立した70以上の旧英植民地諸国の当事者の声を記録した一次資料を提供するデータベースです。20世紀を通じて世界70カ国以上で作成された資料をカバーし、脱植民地化の過程、特に1945年以降から現在までの、帝国・植民地支配体制からの変化や適応を記録します。独立後の旧植民地による政治プロセスにも焦点を当てています。

1960年代から1970年代にかけて独立した国々の政治運動を比較することができる他、地域毎に異なる形態をとっていた自治の発展経緯とその要因、政治運動や新体制の中で権力を掌握した人物に対する視点を提示し、独立した国々で新しい時代を築いた人々の声に耳を傾けます。

◆ [State Papers Online Colonial: Asia](#) シリーズ **英国植民地省アジア関係文書集**

アジア（※南アジアを除く）における英国の植民地経営や外交を取り上げる全4部構成のシリーズです。

• [第1部：アジア・香港・威海衛／Far East, Hong Kong and Wei-Hai-Wei](#)

主に20世紀のアジア、香港、威海衛に関わる文書を収録。英国によるアジア諸国の統治・支配の実態や、アジア諸国同士の関係、人口や住民の生活の変化を記録します。

• [第2部：シンガポール・東マレーシア・ブルネイ／Singapore, East Malaysia, and Brunei](#)

18世紀半ばから20世紀半ばまでの約50万ページの資料を収録し、約100年にわたるこの地域の動向を、英国植民地統治の視点から明らかにします。

• [第3部：英領マラヤ／Malay States, Malaya, and Straits Settlements](#)

現在の西マレーシアと海峡植民地（シンガポール、ペナン、マラッカ）に関する12シリーズの旧植民地省文書（18世紀後半から20世紀半ばにかけての文書の原本4,800冊）を収録します。

スルタンとの関係や地元の権力闘争、スズ、ゴム、石油などの天然資源の開発と搾取、地元民族間の民族的対立、近隣諸国や植民地との関係、第二次世界大戦と日本の侵略、戦後の政治、マラヤ危機と独立への道など克明に記録します。

• [第4部：マレーシア、シンガポール、香港／Malaysia, Singapore, and Hong Kong](#)

旧植民地省の文書を主として、他に首相府や国防省等のファイルなど、1844年から1997年にかけての文書38万ページを収録します。マレーシア・シンガポールにおける戦争捕虜、民間人抑留者、日本人の資産の処分、スルタンの行動、中国人コミュニティと中国の干渉や、香港における貿易、国際関係、防衛等の様々なトピックに関して、英国の視点の変遷を明らかにします。

◆ [Environmental History: The Colonial Policy and Global Development](#)

環境史アーカイブ：英国植民地政策と海外開発援助に見る環境の歴史1896年-1993年

旧英国植民地の地域であるアフリカやアジア地域を対象として、環境史および開発政策に関する英国政府省庁の文書35万ページを収録するデータベースです。脱植民地化の時代における英国の海外開発援助政策の文書を通して、開発と密接な関わりを持つ環境保護や野生生物保護等について調査できます。

ご契約形態

買切り契約：同時アクセス数無制限、価格は在籍者数によって異なります。維持料金はかかりません。個別にお見積申し上げますので、最寄りの営業部/所までお問い合わせください。